

足利市歴史文化基本構想

足利市歴史文化基本構想 保存活用計画

(その1)



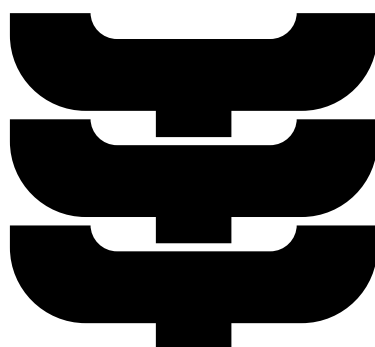
歴史
基本構想
文化



平成23年3月

足利市

足利市歴史文化基本構想
足利市歴史文化基本構想 保存活用計画(その1)



平成23年3月

足利市

あいさつ

足利は自然に恵まれた歴史と文化のまちです。市内では足利学校、鏝阿寺だけでなく、路傍にある石仏や絵馬、渡良瀬川にかかる中橋や渡良瀬橋、古い民家や庭園などのほか、地域で続けられている祭礼や伝統行事など様々な文化財を目にすることができます。これらは身近にあって普段は気にも留めないものかもしれませんが、足利に連綿と続いてきた歴史文化の証であり、地域のアイデンティティともなっています。

しかしながら、1960年代の高度経済成長期、1980年代のバブル経済期を経て、近代化遺産など多くの文化財が失われました。そして、昨今の経済状況や生活様式の変化、地域コミュニティの維持が困難になることなどによる文化財消失が危惧されています。

こうした危機に直面し、足利市では足利の歴史文化とは何かを見直すとともに、まちづくりの中で市民の皆様と協働して足利の歴史文化を守り伝えていくため、本構想を策定いたしました。本構想の策定では足利の文化財を総合的に調査・分析することにより、足利の歴史文化の奥深さや新たな魅力を発見することができました。

今後はこうした成果を内外に発信するとともに、まちづくりの中で活かしながら、「歴史と文化のまち足利」の歴史資産である文化財を次の世代にバトンタッチができるよう力を尽くす所存ですので、市民の皆様の一層のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

本構想が、市民の皆様が足利市の歴史文化を大切に思い、守っていくための道しるべとなれば幸いです。

最後になりましたが、本構想を策定していただきました足利市歴史文化基本構想策定委員会の委員の方々をはじめ、ご指導いただきました足利市文化財専門委員会の方々、各種調査にご協力いただきました関係者のほか、たくさんの市民の皆様に心からお礼申し上げます。

平成23年3月

足利市長

大豆生田 実

豊富な歴史的資源を有する足利市にとって「足利市歴史文化基本構想」は点として存在する資源を、足利市という地域の中に明確に位置づける地域計画の作業でした。この計画策定は初めての経験であり、検討しなければならない問題も多く、また計画案を構成する上において様々な困難に遭遇しました。計画の基礎となる文化財調査の過程においては、私たちの住む足利市が幾層もの歴史的なレイヤーが積み重ねられたまちであることを再確認することができました。そして「関連文化財群」を設定する作業においては、これらをまとめるための切り口を変えて見ることによって足利市の歴史文化が魅力的な表情を示すことがわかりました。

本構想によって「歴史と文化のまち足利」における歴史的資源が地域区分によって群としてのまとまりを持ちながら、内外部に公開され、新たな魅力の創出になったのではないかと自負しております。そして、これらの資源を市民と行政が手を携えて保全し、次の世代へ引き継ぐための新しいシステムの提案もできました。

さて構想がまとまり、今後の方針が明確化されましたが、これを力強く推進していくために幾つかの課題が残されております。その第一点は構想による地域指定をもとに「関連文化財群」を収集・保全・公開するための主体形成があります。市民と市内の団体、そして行政が手を携えそれぞれの地域における歴史文化の保存活用の主体(担い手)になっていただくことです。この活動が新たな文化の創造の原動力となり、本構想がその活動指針になることを願っております。

第二点としては、この構想が市の長期総合計画の中に明確に位置づけられ、時間の経過に関わりなく歴史文化保全の指針となることです。

第三点としては、この重厚な計画全体を進めるにあたり、まずは軽微なところから具体的な行動を起こすことが重要だと考えます。

最後に、本構想をとりまとめるにあたりご協力いただきました市民の皆様、ご指導いただきました関係各位に厚く御礼申し上げます。

平成 23 年 3 月

足利市歴史文化基本構想等策定委員会

委員長 蟹 江 好 弘

例 言

1. 本書は足利市が平成 20～22 年度事業として策定した足利市歴史文化基本構想、足利市歴史文化基本構想 保存活用計画（その 1）及び資料編から構成されています。
2. 本構想は、文化庁の文化財総合的把握モデル事業を受託し、策定したものです。
3. 本構想策定にかかる経費は文化庁の委託費によります。
4. 本構想の策定にあたっては、足利市歴史文化基本構想等策定委員会を組織し、委員 27 名を委嘱し、事務局は足利市教育委員会事務局文化課が担当しました。
5. 本書は、文化庁の委託業務として、足利市が実施した歴史文化基本構想調査の成果を取りまとめたものです。従って、本報告書の複製、転載、引用等には文化庁の承認手続きが必要です。
6. 本書を作成するにあたって調査した資料等は足利市教育委員会事務局文化課で保管しています。

足利市歴史文化基本構想等策定委員会委員

川島 茂（～H21.3）	本山 文男（H22.4～）	坂本 高啓（～H22.3）	泉 正樹（H.22.4～）
嶋田 清（～H22.3）	武井 範夫（H22.4～）	嶋田 隆（～H22.3）	渡辺 和夫（H22.4～）
熊倉 雄一（～H21.3）	渡辺 一男（～H22.3）	篠原 衛（H22.4～）	鈴木 芳博（～H21.3）
小林 正明（～H22.3）	菊地 義治	新里 元二	石川 禎二
寺山 厚子	桑山 弘和（～H21.3）	清水 尚則（H21.4～）	齋藤 久
亀田 悦子	石川 光子	三瓶 恵子	伊藤 正義
日下部高明（副委員長）	蟹江 好弘（委員長）	市橋 一郎	

<指導機関>

足利市文化財専門委員会委員

市橋 一郎	岩本 秀雄	上野 憲示	岡崎龍太郎
菊地 卓（副委員長）	北口 英雄	日下部高明（委員長）	竹澤 謙
中村 恵三	堀江 英夫		

文化庁伝統文化課

栃木県教育委員会文化財課

事務局

足利市教育委員会事務局

教育長 岩田 昭

教育次長 本山 文男

文化課長 赤坂 誠

文化財保護担当リーダー

文化財保護担当

○大澤伸啓（～H22.3）

○齋藤和行（～H21.3）

○足立佳代

○亀山泰昭

橋本康成

佐藤 弘（H21.4～）

山田和彦（H22.4～）

渡辺 進（H22.4～）

○三木克巳（H22.4～）

板橋 稔

久保康弘（～H22.3）

（○は担当者）

コンサルタント

（株）プレック研究所